

事業番号	09 04 06	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課		
		実施期間	S61 ～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	①労働生産性						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	2-2 地域内経済循環の促進	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成				

1 現状と課題

- ・本県の畜産は、従事者の高齢化が進み、農家戸数・総飼養頭羽数ともに減少傾向となっている。また、一戸あたりの飼養頭羽数は増加しているが、自給飼料生産の拡大が課題となっている。
- ・畜産経営は、経済情勢や新型コロナウイルスの影響により生産物価格が不安定になっているほか、輸入飼料価格が史上最高値を記録するなど、外的要因により経営に大きな影響を及ぼしている。

2 事業目的

経営規模や自給飼料生産の拡大、省力化技術の導入を推進するとともに、飼養衛生管理基準の遵守を徹底することで、畜産経営の生産性を向上し、県産畜産物の安定供給を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①畜産の生産性と収益力の向上

- ・飼養頭羽数の増加など収益性向上のための施設整備を支援
- ・自給飼料作物の増産と高品質な堆肥生産を支援
- ・生産性の向上に向けて飼養管理技術の改善等を支援
- ・省力化等に向けてスマート農業技術の普及
- ・飼料購入費の一部を支援

②個性ある高品質な畜産物のブランド力の向上

- ・信州プレミアム牛肉など高品質な牛づくりの推進
- ・県オリジナル地鶏の素ヒナの安定供給
- ・老朽化している食肉処理施設の整備支援の検討

③消費者に信頼される安全・安心な生産体制の確立

- ・農場における衛生管理状況の確認及び食中毒原因菌の衛生検査を実施

生産力UP!

- ◆飼養頭羽数の拡大
- ◆搾乳ロボット等省力化機械の整備
- 【生産性を高める搾乳ロボット】
- ◆畜産作業の外部化・分業化
- ◆新規就農者誘致
- ◆空き畜舎活用

収益性UP!

- ◆ICTなど先端技術の導入
- ◆DNA情報等の活用による優良後継牛の確保
- 【国産肉用牛を支援するICT（情報）】
- 【新たに生産される銘柄肉種別】
- 【びん詰野菜を活用し生産される卵】
- 【国産肉用牛の品種改良】
- ◆多産系母豚・グループシステムの導入
- ◆自給飼料増産などのコスト低減

ブランド力UP!

- ◆信州プレミアム牛肉の認定拡大
- ◆新たな地鶏の開発・ヒナ供給拡大
- ◆飼料用米などの活用拡大
- ◆高品質な生乳生産

消費者からの共感力UP!

- ◆農場HACCP・畜産GAPの導入
- ◆アニマルウェルフェアの取組拡大
- ◆バイオセキュリティ対策の徹底

持続可能な収益性の高い魅力ある畜産経営の確立

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	実績	実績	推移	推移			
①	信州プレミアム牛肉の認定頭数	頭	4,336	3,937	↘	4,234	↗	3,800	達成	第3期食と農業農村振興計画におけるR4年度（最終年度）の目標3,800頭を目標値とした	
②	畜産農家（乳用牛）1戸当たり飼養頭数	頭	51.4	52.4	↗	55.8	↗	52.8	達成	長野県酪農・肉用牛生産近代化計画において、R1年度からR12年度までに10.9頭増加させることが長期目標であるため、成果目標として設定し、R4年度は前年比0.9頭増を目標とした	
③	畜産農家（肉用牛）1戸当たり飼養頭数	頭	54.9	57.9	↗	60.9	↗	59.0	達成	長野県酪農・肉用牛生産近代化計画において、R1年度からR12年度までに22.9頭増加させることが長期目標であるため、R4年度は前年比1.9頭増を目標とした	
④	乳用牛1頭当たり生産乳量	kg	8,834	8,921	↗	8,764	↘	9,000	未達成	乳用牛の乳量実績と産乳能力の向上を図るため、過去10年の乳牛の生乳生産状況を踏まえ、R2年度比+166kgを目標とした	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計（予算現額）	うち一般財源		
R4年度	155,252	87,558	632,653	875,463	14,427	574,004	13.67
R3年度	90,131	46,809	230,300	367,240	14,044	129,018	13.67
R2年度	291,375	161,476	△ 23,218	429,633	16,748	315,626	14.19

事業番号	09 04 06	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	畜産振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

6 主な取組実績と成果

① 畜産の生産性と収益力の向上

- ・施設整備への支援（3か所）により、畜産経営の規模拡大やたい肥の高品質化が図られた。
- ・牛群ドック（血液生化学検査、飼料給与診断等）を通じた指導の実施（51戸）により、生乳の生産性向上が図られた。
- ・国庫事業活用による高性能機械の導入推進（41件）により、自給飼料の生産拡大や収穫等の作業性の向上が図られた。
- ・畜産農家のほか J A 等の畜産関係者を対象とした研修会の開催（2回）により、飼養・衛生管理技術の向上が図られた。
- ・県独自に配合飼料購入費に対する一部助成（5団体、579戸）や粗飼料購入に対する国事業への上乗せ等の実施（乳用牛12,143頭分）により、飼料価格の高騰による畜産経営への影響緩和及び経営の継続が図られた。

② 個性ある高品質な畜産物のブランド力の向上

- ・全国和牛能力共進会への出品支援（1回）及び生産性の優れた乳用牛や良質な枝肉などを競う共進会への開催支援（12回）により、信州プレミアム牛肉などの県産畜産物のブランド力や飼養管理技術等の向上が図られた。
- ・「信州黄金シャモ」等の素ヒナの供給（25,757羽）により、長野県オリジナル地鶏の安定生産を通じたブランド力の向上が図られた。
- ・老朽化している食肉処理施設の整備支援に向けた検討会等の開催（5回）により、関係者の合意形成が図られた。

③ 消費者に信用される安全・安心な生産体制の確立

- ・信州あしん農産物〔牛肉〕生産認定農場の衛生検査及び飼養管理方法等の現地検査の実施（135件）により、安全・安心な生産体制の維持が図られた。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	信州プレミアム牛肉の認定頭数	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	達成
推定育種価やゲノミック評価を活用した脂肪交雑やオレイン酸含有率等の遺伝的な改良、全国和牛能力共進会への参加や信州プレミアム牛肉オール信州共進会in京都の開催等を通じた飼養管理技術の向上等の取組により認定頭数が増加した。							
指標②	畜産農家（乳用牛）1戸当たり飼養頭数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
2015年度から始まった畜産クラスター事業等の活用により規模拡大が進んだ結果、1戸当たりの飼養頭数が増加した。							
指標③	畜産農家（肉用牛）1戸当たり飼養頭数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
肉用牛導入事業や機械導入事業等の推進に取り組んだ結果、1戸当たりの飼養頭数が増加した。							
指標④	乳用牛1頭当たり生産乳量	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
新型コロナウイルス感染症の蔓延等により業務用生乳消費量の減少が続いたことや、輸入飼料価格の高騰により乳用牛への飼料給与量を節減したことなどにより、1頭当たりの生産乳量は前年を下回った。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和4年度の取組実績等は概ね目標を達成することができたものの、畜産業界全体としては飼料価格の高騰が続く中で利益の確保が難しい状況にあることから、引続き生産性の向上や省力化に向けた取組を推進するとともに、国産飼料の確保等の持続的な畜産経営に向けた取組を強化していく必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・国産飼料の確保に向けて、耕種側における自給飼料生産や畜産農家とのマッチング、公共牧場の機能強化等の取組を強化する。

事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	---------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	農業制度資金利子補給等事業	879 千円	731 千円	544 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	畜産特別資金利子補給事業	直接補助金	畜産特別資金等借入農家の負担軽減のための利子補給及び経営改善指導を実施 利子補給件数 15件

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	地域畜産対策事業	277,385 千円	91,260 千円	82,236 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	自給飼料推進事業	直接	自給飼料増産を推進するため、優良品種の導入及び自給飼料の成分分析等により良質な自給飼料の生産拡大を推進 自給飼料共励会の開催 2回（出品数：牧草の部26件、飼料作物の部36件）
2	畜産振興施設の整備	補助金	畜産経営の規模拡大、収益性向上のための施設整備を支援 家畜飼養管理施設 3件（補助額：81,355千円）

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	畜産物流通安定対策事業	2,106 千円	2,367 千円	2,417 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	肉用子牛価格差補てん金の造成	補助金	肉用子牛の価格下落時に交付する価格差補てん金（肉用子牛生産者補給金）の財源となる積立金の造成を支援 県の積立金による造成額 1,884千円

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	食肉流通対策事業	156 千円	70 千円	405 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	食肉施設運営主体による整備計画の作成及び施設整備の支援	直接	本県の食肉流通が円滑に進むよう、事業者間の連携・補完についての話し合いを促すとともに、施設運営主体の整備計画づくりを支援 検討会・懇話会の開催 5回

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	乳用牛対策事業	6,311 千円	3,765 千円	5,755 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	牛群検定データの分析及び情報提供	直接	乳量・乳質の向上を図るため、牛群検定情報の分析及び情報提供を実施 牛群検定実施農家数 72戸	
2	バルク乳全戸検査及び牛群ドックの実施	直接	・搾乳衛生の改善等を図るため、バルク乳を用いて細菌検査及び牛ウイルス性下痢症検査を実施 ・牛群ドックとして血液生化学検査や、飼料成分分析を実施 牛群ドック実施農家数 51戸	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	家畜振興対策事業	28,566 千円	30,735 千円	27,914 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	体外受精卵の生産と供給	直接	体外受精卵移植技術を活用して優良種畜を確保し生産基盤を強化するため、受精卵の生産と供給を実施 受精卵生産数 85個	
2	種畜検査の実施及び家畜人工授精師の養成	直接	・家畜改良増殖法に基づき、優良な雄の家畜を確保するための検査を実施 ・次代を担う技術者を養成するため、講習会を開催 家畜人工授精師養成講習会 1回	
3	農場の衛生検査	直接	県産牛肉の生産及び消費の拡大のため、農場における衛生管理状況の確認及び食中毒原因菌の衛生検査を実施 信州あんしん農産物〔牛肉〕生産認定農場検査件数 135件	
4	長野県オリジナル地鶏の生産体制の整備	直接	ごだわりある地鶏の生産振興に向けて、畜産試験場で開発した「信州黄金シャモ」及び「長交鶏3号」等の素ヒナの供給を実施 県オリジナル地鶏の素ヒナ供給 25,757羽	
5	肉用牛の改良増殖	直接	ごだわり牛肉づくりのための基盤を強化するため、ゲノミック評価等を活用した種畜の作出に取組むとともに、効率的な肥育素牛の増産体制を実証 ゲノミック評価頭数 39頭	
6	スマート畜産の普及推進	直接	畜産現場の省力化と生産性向上のため、牛群管理システムや分娩監視システム等のスマート畜産技術のお試し導入を実施 お試し導入件数 1件	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	配合飼料価格高騰緊急対策事業	0 千円	0 千円	372,059 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	配合飼料価格差補てん	補助金	飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家の事業継続を支援するため、配合飼料購入費の一部を助成 配合飼料価格高騰への助成 579戸	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
8	酪農粗飼料価格高騰緊急対策事業		0 千円	0 千円	82,674 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	酪農粗飼料価格高騰緊急対策事業	補助金	飼料価格高騰の影響を受ける酪農家の事業継続を支援するため、酪農経営における粗飼料購入費の一部を助成 酪農家の粗飼料価格高騰への助成 12,143頭分		